

—研究の概要—

【主題設定の理由】

Society5.0 時代では、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）が高度に融合していく。そのような未来を生きる子どもたちには、課題を解決する中で、デジタル端末を使用し、さまざまなデジタルコンテンツを比較・関連させながら、主体的に読み解いていくことが求められている。そのため、国語的な文章を読み解く読解力に加えて、横書きの資料を縦にスクロールしながら読む力や、書いて整理できない状況で、追加される補足説明をつなげながら読む力、信頼性や妥当性を慎重に評価しながら読む力等が不可欠である。加えて、OECD が実施した 2018 年の「国際学習到達度調査 (PISA)」では、今日的な読解力の重要性が指摘されたところでもある。

本校の読解力向上の取り組みを通して、表層的な理解に留まる読みではなく、探求する読みができる生徒を育成し、その先にある「探求的な学び」ができる生徒を育てていくことを目標とする。

Society5.0に向けた高度情報化の加速



- ・横書きの資料を縦にスクロールしながら読む。
- ・短文による**説明不足を補って読む。**
追加された複数の**補足説明をつなげて読む。**
- ・**ハイパーリンクを活用して**複数の資料を主体的に読む。
表示された複数の資料を**切り替えながら読む。**
- ・**多様な表現様式のテキストを比較したり重ねたりして読む。**
- ・書いて整理できない状況で読む。
- ・資料の**信頼性や妥当性を評価**しながら読む。